

令和3年度学校自己評価報告書

令和4年3月31日現在

東日本デザイン&コンピュータ専門学校

学校自己評価委員会

委員長 小林 一英 (校長)

副委員長 朝日 泰博

副委員長 間仁田 篤

委員 桑原 章人

委員 狩野 広之

委員 平田 耕一郎

委員 田島 亮

委員 寺崎 紀子

委員 根本 剛

委員 湯浅 拓也

委員 本多 学

委員 信田 康児

委員 齋木 崇

目次

基準 1 教育理念・目的・育成人材像等	1
1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	1
1-2 学校の特色はなにか	2
基準 2 学校運営	3
2-1 事業計画は定められているか	3
2-2 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	4
基準 3 教育活動	5
3-1 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	5
3-2 カリキュラムは体系的に編成されているか	6
3-3 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	7
3-4 資格取得の指導体制はあるか	8
基準 4 教育成果	9
4-1 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	9
4-2 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	10
基準 5 学生支援	11
5-1 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	11
5-2 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	12
5-3 保護者と適切に連携しているか	12
基準 6 教育環境	13
6-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	13
6-2 防災に対する体制は整備されているか	14
基準 7 学生の募集と受け入れ	15
7-1 学生募集活動は、適正に行われているか	15
7-2 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	16
基準 8 財務	17
8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	17
8-2 財務について会計監査が適正におこなわれているか	18
基準 9 法令等の遵守	19
9-1 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	19
9-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	20
基準 10 社会貢献	21
10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	21

基準 1 教育理念・目的・育成人材像等

1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-1-1 学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などが、明確に定められているか	明確に定めている。	学則・学校要覧等に明記	特に課題は感じていない。	学則 学校要覧 学校案内等
1-1-2 理念・目的・育成人材像を実現するための具体的な計画・方法を持っているか	教育課程に対応した授業計画を策定・実施し、期末には自己点検を行っている。	毎年度期別に授業計画・点検票を作成	特に課題は感じていない。	授業計画・点検票
1-1-3 理念・目的は、時代の変化に対応し、その内容を適宜見直されているか	適時見直し、必要に応じ学則等の内容を検討している。	年 2 回の教育課程編成会議を開催し、業界ニーズの変化への対応を確認している。	特に課題は感じていない。	議事録
1-1-4 理念・目的・育成人材像等は、教職員に周知され、また学外にも広く公表されているか	教職員および学校関係者へ周知を図っている。また、学外にはホームページに公開している。	学校要覧、学校案内、ホームページ等に、理念・目的・育成人材等を明記	特に課題は感じていない。	学校要覧 学校案内 ホームページ（情報公開）
点検中項目総括		特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）		
理念・目的・育成人材像を明確に定め、学校要覧や学校案内、ホームページ等に掲載し、広く学内外に公表している。また、時代の変化に対応するためシラバスの内容を適時見直していて、特に問題はない。		<理念・目的・育成人材像> 「すべては未来をつくる学生の夢の実現のために」 専門的な知識・技術を身につけたスペシャリストとして、産業界の成長を支え、職業人として豊かな人生を送ることができる人材を育てることを使命とする。		

1-2 学校の特色はなにか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-2-1 学校の特色として挙げられるものがあるか	<ul style="list-style-type: none"> ・実習施設・設備の充実 ・就職支援体制の充実 ・担任制 	各コースごとに専用の実習室及び設備を備えている。就職部を設置し、専任の職員を配置している。	特に課題は感じていない。	学校案内 ホームページ
点検中項目総括		特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）		
<p>実習施設・備品には力を入れ、就職後現場での業務に戸惑わないようすべて実際の現場と同等の仕様にし、職業実践的な技術を修得できるよう充実させている。</p> <p>就職率100%を目標とし、本人の適正にあった企業への就職サポートをしている。本年度も目標達成し、成果を出している。</p> <p>担任制によりきめ細かな指導を行っている。</p>		<p><実習施設・設備></p> <p>パソコン実習室</p> <p>MAC 実習室</p> <p>CG 実習室</p> <p>モーションキャプチャスタジオ</p> <p>アトリエ</p> <p>メイク実習室</p> <p>工作室</p>		

基準 2 学校運営

2-1 事業計画は定められているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-1-1 学校の目的、目標を達成するための事業計画が定められているか	毎年度、事業計画を定めている。	学校経営は学生納付金により維持されているので、安定した学校運営のため事業計画等も定めている。	学生募集が重要課題と捉え、教職員が一丸となり学生募集にあたっている。	事業計画案
2-1-2 学校は事業計画に沿って運営されているか	事業計画に沿ってほぼ計画通り実行している。	当年度は勿論、次年度を見通した事業計画を立案している。	ほぼ計画通りに行っている。	同上
点検中項目総括			特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）	
学校の目的、目標を達成するための事業計画はおおむね計画に通り実行できた。			経年劣化等に伴う設備・備品の改善を逐次行っていきたい。	

2-2 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-2-1 学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	専修学校設置基準に定められた必要人員は確保されている。	教職員名簿、経歴書等により掌握している。	教員研修を組織的・計画的に実施している	研修報告書
2-2-2 人事考課制度は整備されているか	制度として明確には整備されていない。	就業規則・服務規定に定められていない。	人事考課制度の方針や基準の整備が必要となる。	就業規則・服務規程
2-2-3 昇進・昇格制度は整備されているか	完全には整備されていない。	前提として人事考課制度の整備が必要である。	人事考課制度の整備をする。	就業規則
2-2-4 賃金制度は整備されているか	完全には整備されていない。	前提として人事考課制度の整備が必要である。	人事考課制度の整備をする。	就業規則
2-2-5 採用制度は整備されているか	制度としては整備されていない。必要に応じて中途採用を行っている。	経歴書、面接等により教育目標の達成に向け授業を行うことができる人材を採用している。	優秀な人材の確保には苦慮している。	教職員名簿
2-2-6 教職員の増減に関する情報を明確に把握しているか	教職員名簿にて確認している。	職員名簿と時間割表を照合している。	特に課題は感じていない。	教職員名簿 時間割表
点検中項目総括		特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）		
学校運営に必要な人材の確保は、設置基準を遵守して行っている。教職員研修も組織的・計画的に行っている。		指導力向上のための研修の実施 専門分野の技能向上のための研修実施		

基準 3 教育活動

3-1 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-1-1 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けている。	教育課程編成委員会ほか関係業界からの情報を取り入れシラバス等に反映している。	特に課題は感じていない。	学則（教育課程） 学校要覧
点検中項目総括			特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）	
業界の人材ニーズは各学科・コースごとに常に最新の情報を収集する努力を行っている。収集した情報を参考に教育目標、育成人材像が業界の人材ニーズと乖離することが無いよう方向付けしている。			<業界の人材ニーズの把握> 教育課程編成会議からの情報 教職員研修からの情報 企業等の採用担当者からの情報 卒業生（校友会等）からの情報 その他（メディア等）	

3-2 カリキュラムは体系的に編成されているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-2-1 学科のカリキュラムは、目標達成に向け十分な内容でかつ体系的に編成されているか	最新の業界のニーズに合わせて体系的に編成を行っている。	各コースごとに検討をし、学科単位で調整を行っている。	特に課題は感じていない。	学則
3-2-2 カリキュラムの内容について、業界など外部者の意見を反映しているか	業界など外部の意見を反映したカリキュラムとなっている。	業界関係の外部委員を加えた教育課程編成委員会を開催し、意見を反映している。	特に課題は感じていない。	教育課程編成会議議事録
3-2-3 カリキュラムを編成する体制は明確になっているか	教育会議編成委員会の意見を取り入れ、教務部を中心として策定している。	校務分掌に明示し実施体制を整えている。	特に課題は感じていない。	学校要覧
3-2-4 カリキュラムを定期的に見直しているか	教務部を中心に行っている。	毎年度各コース別に検討を行っている。	特に課題は感じていない。	学則 シラバス
点検中項目総括		特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）		
教育目標、育成人材像実現に向けたカリキュラム編成は業界と連携をはかりながら、広報部や就職部の意見を取り入れ教務部で行っている。また、国から指定や承認を受けている講座のカリキュラムについても定期的に検討している。		<業界との連携> 企業等による実習、演習授業の実施 教育課程編成会議 <国から指定・承認を受けている講座> 『専門実践教育訓練給付』（厚生労働省）対象講座 『長期高度人材育成コース』（厚生労働省）対象講座		

3-3 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-3-1 学科の育成目標に向け授業を行うことができる要件（専門性・人間性・教授力・必要資格など）を備えた教員を確保しているか	確保している。	専修学校設置基準の教員資格の規定、職務経歴および取得資格等を精査し採用している。	更なる人材育成に努め、教授力の向上を図る。	教員名簿
3-3-2 教員の専門性レベルは、業界レベルに十分対応しているか	実務家教員の充実をはかり対応している。	履歴・職務経歴等により確認している。	更なる質の向上を目指す。	履歴書
3-3-4 教員の専門性を適宜把握し、評価しているか	実務経験及び取得資格による把握、評価行っている。	職務経歴書。	最新の情報の把握が必要。	
3-3-5 教員の専門性を向上させる研修を行っているか	担当科目の専門性を向上させるため、個別に研修に参加している	企業、業界団体で、実務研修等に参加し、技能向上を図っている。	参加頻度を増やし、さらなる専門性の向上を図る。	研修報告書
3-3-6 教員間(非常勤講師も含めて)で適切に協業しているか	教科単位での協業は行われている。	専任教員を中心とし、協議、立案。それを、講師に伝達ということで進めている。	非常勤講師にはこまめに連絡をとり、最低限の内容は伝達している。	
3-3-8 非常勤講師の採用基準は明確か	採用基準は明確になっている。	専修学校設置基準の教員資格の規定に基づいている。	特に課題を感じていない。	教員名簿 学校設置基準
点検中項目総括		特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）		
現場経験専任教員、非常勤講師を有しており、実践的な教育を行っている。また、専任教員については専門性向上のために研修のほか指導力向上のための研修を毎年度実施し、教員のレベル向上に努めている。		非常勤教員は兼務教員がほとんどのため学校主導での研修が進めにくい。		

3-4 資格取得の指導体制はあるか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-4-1 目標とする資格はカリキュラムの上で明確に定められているか	カリキュラムでは明確に定めていない。	担当教員が認識を持って指導にあたっている。	特に課題は感じていない。	授業計画表
3-4-2 目標とする資格の取得をサポートできる教育内容になっているか	資格取得を考慮した教育内容になっている。	資格取得に必要な科目を設置している。	特に課題は感じていない。	授業計画表
点検中項目総括		特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）		
カリキュラムで明確に定めていないが、目標資格として関連科目の中で指導に当たっている。また、資格取得のための特別講習会を担当教員が時間外を利用して実施している。		<代表的な資格> 色彩検定（アートクリエイターコース） レタリング検定（メディアクリエイターコース） リテールマーケティング検定（雑貨・ファッションスタイリストコース） CG ARTS 協会検定（3DCG デザイナーコース） 日商 PC 検定（ゲームプログラマーコース） 情報処理技術者試験（情報システムコース）		

基準 4 教育成果

4-1 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-1-1 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	就職担当職員およびクラス担任により良好に行なわれている。	面接指導・個別会社説明会など年間行事として組織的計画的に行っている	特に課題は感じていない。	年間行事予定表
4-1-2 就職成果とその推移に関する情報を明確に把握しているか	学生から就職活動報告を提出させて把握している。	学生の活動状況、内定実績をデータベース化し全教職員が情報共有できるようにしている。	特に課題は感じていない。	コース別内定先リスト 学生活動状況報告書
点検中項目総括			特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	
就職担当職員と担任が連携し、就職率向上に向けた取り組みを行っている。特に担任は業界出身者が多いため、経験を生かしそれぞれの業界に対応したきめ細かい指導を行っている。			<就職実績> 令和2年度 91.3% 令和1年度 100% 平成30年度 100% 平成29年度 100% 平成28年度 100% 平成27年度 100%	

4-2 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-2-1 卒業生・在校生の社会的活躍及び評価を把握しているか	担任ベースと校友会（卒業生組織）企業からの情報収集を試みている。	一部把握している。 （在校生については把握）	更なる情報収集が課題となる。	
4-2-2 卒業生の例として特筆すべきものを記述できるか	卒業生の社会的な活躍については把握しきれていない。	本人からの申告がないため正確に把握できない。	同上	
4-2-3 在學生や卒業生のコンテスト等で評価されたか	在校生の実績はない。 卒業生については把握しきれていない。	在校生については本人からの申告や主催者側からの学校への通知等がある。	在校生については出来ている。	学校要覧
4-2-4 在學生や卒業生の作品等の発表が、外部のコンテスト等で評価された例として特筆すべきものを記述できるか	同上	コンテストの報告書や関連Webでの結果公表など。	同上	学校要覧
点検中項目総括		特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）		
在校生については担任制ということもあり、ほぼ把握されているが、卒業生については把握しきれていない。		卒業後社会的活躍の把握には限界がある。		

基準5 学生支援

5-1 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-1-1 学生の就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	就職担当職員、クラス担任が連携し、組織的、計画的に行われている。	年間計画を策定し、着実に実行している。	特に課題は感じていない。	年間行事予定表
5-1-2 就職に関する説明会を実施しているか	行っている。	採用担当者との連絡を密にし、随時個別企業説明会を開催している。	特に課題は感じていない。	求人票
5-1-3 就職に関する学生個別相談を実施しているか	就職担当職員およびクラス担任により実施。	キャリアデザイン、コースミーティングの授業、放課後等を利用し、実施している。	特に課題は感じていない。	授業計画
5-1-4 就職の具体的活動(履歴書の書き方など)に関する指導を実施しているか	就職担当職員およびクラス担任により実施。	キャリアデザイン、コースミーティングの授業、放課後等を利用し、実施している。	特に課題は感じていない。	授業計画
点検中項目総括		特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）		
就職・進学指導のための科目（キャリアデザイン）を設置し指導を行っているほか、年間行事の中で面接練習や企業説明会開催等を組織的、計画的に実施している。		<主な就職支援> 履歴書（ES）書き方 面接・GD トレーニング 企業説明会・業界セミナー開催 OB・OG による就職講話		

5-2 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-2-1 スポーツ等のクラブ活動、ボランティア活動その他、課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	放課後を利用したサークル活動を実施し、有効に機能している。	活動は担当教員が顧問として支援している。	一部担当者の負担が増加する。	学生会予算決算 活動実績
点検中項目総括		特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）		
学生会より適正な予算配布をし、活動面では担当教員が顧問として支援に当たることとし体制を有効に機能させている。		学生会がブライダル・ホテル・トラベル専門学校とデザイン&コンピュータ専門学校の2校で組織されているので、サークル活動は所属学校に関わらず参加できる。		

5-3 保護者と適切に連携しているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-3-1 保護者と適切に連携しているか	父母の会の運営や学園祭でのイベント開催（バザー）等で連携している。	父母会を組織化し、教職員と連携して行事等に当たっている。 年間行事予定の配布。	保護者会などの開催により、教職員との親睦及び情報交換の場の設置を検討。	父母の会事業計画・実績 父母会新聞（年3回発行）
項目総括		特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）		
個々の学生については担任が保護者と連絡を取り合い対応し、組織的には父母の会を通じ情報共有、連携を図る様になっている。		学校行事の様子などは父母会新聞やインターネットにより適時情報発信を行っている。 年3回『父母の会だより』を刊行		

基準 6 教育環境

6-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-1-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	教育上の必要性に十分対応できるよう整備されている。	専修学校基準を満たしている。	計画的に教材、設備機器の導入に努める。	教室および実習室一覧
6-1-2 施設・設備のメンテナンス体制が整備され、有効に機能しているか	施設・設備のメンテナンス体制は整備され有効に機能している。	定期的に点検整備を実施している他不具合が発生した時は担当教員が直すか外部業者に依頼している。	特に課題は感じていない。	
6-1-3 施設・設備の更新に関する計画を立て、計画通りに更新しているか	年度当初に計画を作成し、計画に基づき更新されている。	計画された時期に適切に実施している。	特に課題は感じていない。	
点検中項目総括			特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）	
教育上必要な施設・設備の点検整備は良好な教育環境維持のため必要不可欠と認識し、計画的に実施するほか必要に応じ適時対応している。			実習室の点検整備は担当実習教員が実務的な観点から整備の必要性を判断している。	

6-2 防災に対する体制は整備されているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-32-6 防災に対する体制は整備され、有効に機能しているか	体制が整備されている。	関係法令に基づき防火管理者を選任し、予防管理組織、自衛消防隊の設置等を行っている。	特に課題は感じていない。	防火管理規定
6-32-7 災害を起こす可能性のある設備・機器等の情報は十分に伝えられているか	防火管理者により十分に伝えられている。	防火管理者により適時担当職員へ伝えられている。	特に課題は感じていない。	
6-32-8 実習時等の事故防止の体制は十分か	教科担当者により十分管理されている。	実習担当職員が対応している。	特に課題は感じていない。	
6-32-9 万が一の災害が起きた場合に備えた保険等の処置は十分なものとなっているか	十分である。	学生賠償責任保険、学生傷害保険に加入している。	特に課題は感じていない。	学校賠償責任保険契約約款 学生傷害保険契約約款
6-32-10 防災訓練を実施しているか	実施している。	毎年4月に新入生および教職員による防災訓練を実施している。	特に課題を感じていない。	防火管理規定 消防計画
点検中項目総括		特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）		
関係法令に基づき防火管理者を選任し、防火管理規定を策定し、防災訓練を行う等、万が一の事態に備えている。		防災訓練では、所轄消防署の協力のもと避難誘導、通報、消火器取扱い等の訓練を行っている。		

基準 7 学生の募集と受け入れ

7-1 学生募集活動は、適正に行われているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-33-1 学生募集活動は、適正に行われているか	適正に行っている。	学校案内等において必要な情報は正確、適切に提示している。	特に課題は感じていない。	学校案内 募集要項 学校ホームページ
7-33-2 学校案内等は、志望者・保護者等の立場に立った分かり易いものとなっているか	誤解を招く表現を排除し、正確で分かりやすい内容になるようにしている。	学校案内等は過去のものを参考に担当教職員に確認を取り、内容を精査して作成している。	一層わかり易い内容となるよう努める。	同上
7-33-3 志望者等の問い合わせ・相談に対応する体制があるか	広報担当者を中心に事務職員、担当教員で対応している。	学校ガイダンス、体験入学会、電話対応などで相談に対応している。	特に課題は感じていない。	
7-33-4 募集定員を満たす募集活動となっているか	広報担当と教務部が一丸となって募集定員を満たす努力をしているが募集定員を満たすに至っていない。	広報担当を中心に高校回りやガイダンス等に積極的に参加している。	体験会や出前授業の内容の充実が求められる。	
点検中項目総括			特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）	
募集活動は広報担当を中心に適正に行っている。学校案内・募集要項は分かりやすく正確な表現に努めている。募集定員を満たすことを目指し募集活動を行っているが、少子化の影響もあり、デザイン学科では募集定員を満たすに至っていない。（コンピュータ学科は定員を充足している）			学校の情報をホームページ上に公開し、学校案内だけでは表現しきれない情報を提供している。本校への理解を深めてもらうためのオープンキャンパスを実施している。	

7-2 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-2-1 学生募集において、就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍等の教育成果は正確に伝えられているか	卒業生の活躍はすべて把握しきれていないが、就職実績、資格取得実績については正確に伝えている。	学校案内や学校ホームページでも正確に公開している。	特に課題は感じていない。	学校案内 学校ホームページ
7-2-2 卒業生の活躍の教育成果が学生募集に貢献したかどうか正しく認識する根拠を持っているか	学生募集に影響する事柄は卒業生の活躍の他様々な要因があり正確に認識できていない。	学校案内などに一部卒業生の活躍を掲載しているが、その貢献の有無は判断できない。	卒業生の卒業後の活躍の把握が課題となる。	
点検中項目総括			特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）	
学生募集活動において卒業生の就職実績、資格取得実績は学校案内、ホームページ等で案内しているが卒業生の活躍の教育成果などは必ずしも紹介しきれていないが、知りえた部分は正確に伝えている。			教育成果としての就職実績、資格取得実績は正確に情報提供できるが、卒業後の活躍の把握は限界がある。	

基準 8 財務

8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-1-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	ほぼ安定している。	学校法人財務諸表において、毎年状況把握している。	少子化による学生数の減少。学生の確保が課題である。	学校法人財務諸表
8-1-2 主要な財務数値に関する情報とその推移を正確に把握しているか	正確に把握している。	財務データ一覧表により状況分析が可能となっている。	財務基盤の安定のため、分析力を高めたい。	財務データ
点検中項目総括			特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）	
中長期的に少子化に伴う学生数の漸減することに対する対策を検討			本校の直近 5 年間財務状況はほぼ良好と判断できる。	

8-2 財務について会計監査が適正におこなわれているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-2-1 財務について会計監査が適正におこなわれているか	適正に行われている。	公認会計士により適正に実施している。	特に課題を感じない。	
8-2-2 会計監査を受ける側・実施する側の責任体制、監査の実施スケジュールは妥当なものか	妥当と認識している。	計画立案をし、適切に行っている。結果については理事会、評議会に報告している。	特に課題を感じない。	
点検中項目総括			特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）	
公認会計士により毎年「当年度事務処理状況および財務諸表各項目」について適正に監査が行われている。			毎年同時期にホームページ上に監査済み財務諸表を公開している。	

基準 9 法令等の遵守

9-1 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-1-1 法令や専修学校設置基準等が遵守され、適正な運営がなされているか	専修学校設置基準等関係法令等を遵守し適正な運営を図っている。	監督官庁の許認可を受け、適正かつ適切に学校運営を行っている。	特に課題を感じていない。	専修学校設置基準
9-4-2 法令や専修学校設置基準等の遵守に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	関係法令等に抵触する恐れがある場合は啓発活動を実施している。	教職員については職員会議で、学生については「学生生活の手引き」などで必要事項について啓発を行っている。	特に課題を感じていない。	学則 学生生活の手引き
点検中項目総括			特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）	
法令や専修学校設置基準を遵守し、適正な運営を行っている。啓発活動も適正に行っている。			学生に対し、学年はじめのガイダンスで関係法令や学則、細則など学生生活に必要な事柄について分かりやすく解説した「学生生活の手引き」を配布し、コンプライアンスに対する啓発を行っている。	

9-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-2-1 志願者、学生や卒業生および教職員等学校が保有する個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	関連法令の他に学内規程を定め対策を取っている。	個人情報の保護に関する法律および学内規程の遵守。	特に課題を感じていない。	山崎学園個人情報取扱規定
9-2-1 個人情報に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	個人情報保護の徹底を心掛けている。	同上	特に課題を感じていない。	
点検中項目総括			特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）	
個人情報の保護に関する規定を遵守し、学生の個人情報の漏洩防止を図っている。			現在までに問題は起きていない。	

基準 10 社会貢献

10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-1-1 広く教育機関、企業、団体等と連携を図っているか	連携を図っている。	企業と連携した授業科目の設置や高等学校等への出前授業の実施などを行っている。	さらに幅広く連携を図る。	カリキュラム
10-1-2 学校の施設・設備を開放するなど、地域社会と連携しているか	毎年の学園祭を実施し、地域社会との交流を図っている。	学園祭での催しを通じて、地域社会とのコミュニケーションを図っている。	より深く地域社会との交流を図りたい。	
点検中項目総括			特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）	
教育機関、企業、団体等との連携をさらに深めていきたい。			留学生実績 令和 3 年度 中国：3 名 令和 2 年度 中国：3 名、韓国：1 名、モンゴル：1 名 平成 31 年度 中国：1 名、韓国：1 名 平成 30 年度 中国：1 名 平成 29 年度 なし	

令和3年度学校関係者評価報告書

東日本デザイン&コンピュータ専門学校は、本校の目的及び社会的使命を達成するため、教育活動の状況について自ら行う点検及び評価を実施し、さらに学校関係者評価委員会での評価を実施し、この報告書にまとめました。

- 基準 1 教育理念・目的・育成人材像
- 基準 2 学校運営
- 基準 3 教育活動
- 基準 4 教育成果
- 基準 5 学生支援
- 基準 6 教育環境
- 基準 7 学生の募集と受け入れ
- 基準 8 財務
- 基準 9 法令等の遵守
- 基準 10 社会貢献

令和4年 5月 1日

学校法人山崎学園

東日本デザイン&コンピュータ専門学校

基準 1 教育理念・目的・育成人材像

- ・明確に定められ、学校要覧・学校案内・ホームページ・学生の手引きに明示して、学校内外に広く周知が図られていて問題はない。
- ・各コースごとの実習施設・備品の充実は職業実践的な技術を修得するためにとってもよいと思う。
- ・専門的な知識等の修得のため、検定試験受験等で学生のスキルアップ図り、また、社会に出たときのための人材育成など、学生たちの身に付く教育がなされている。

基準 2 学校運営

- ・学校運営については、学校の理念・目的を達成するため運営方針に沿った事業計画が毎年作成され、適切に行われている。
- ・人事、賃金等の制度の整備は進んでいないが、教職員の指導力向上ための研修や専門分野の技能向上のための研修を毎年組織的、計画的に行っている。

基準 3 教育活動

- ・専門分野の基本的な知識の修得に加え関係業界からの最新の情報を収集し、業界の人材ニーズに向けた教育活動が行われている。
- ・業界からの情報を取り入れ教育課程編成に反映されているのは評価できる。
- ・限られた期間で資格取得を数多くできるように指導されていて、また学生も結果を出している。

基準 4 教育効果

- ・コロナ禍の中でも就職率が良く評価できる。将来に向けて維持してほしい。
- ・就職活動に際し、業界出身の先生にアドバイスをもらえるのは心強い。また結果を出していると思う。

基準 5 学生支援

- ・授業科目にキャリアデザインを設置し、会社訪問、面接等でとても役に立っていると思う。学生が自信をもって就職活動に挑めると思う。
- ・キャリアデザインは大切なことだと思う。更に学生さんたちの視野が広げられるよう工夫してください。
- ・保護者への対応は適切に行われていると思う。

基準 6 教育環境

- ・教育上必要となる施設・設備は整っていてメンテナンスも必要に応じて実施しているので特に問題はない。
- ・防災体制も整備され、所轄の消防の協力のもと訓練が実施されていて特に問題はない。

基準 7 学生の募集と受け入れ

- ・志望者にとって必要な情報は学校案内・募集要項等に記載され、問い合わせ、相談については広報担当者を中心に適切に対応できているので問題はない。
- ・体験会等で、先輩の学生や卒業生の話を聞けたりすることで、学校についてだけではなく卒業後のことも知る事ができ、学校選びのポイントになると思う。
- ・外国人学生の受け入れ等（言葉の問題もあるが）も留意されたい。

基準 8 財務

- ・少子化による学生数減少が続くが、入学者数の確保のための具体的対策が必要と思われる。
- ・会計監査は独立監査法人により適正に行われ、理事会、評議会に報告され適正な会計監査が行われている。

基準 9 法令等の遵守

- ・専修学校設置基準等法令を遵守した適正な学校運営がなされ、学生への啓発も行っていて特に問題はないと思う。

基準 10 社会貢献

- ・企業、教育機関等との連携が図られているが、さらなる深度化を期待したい。
- ・少子化の時代、留学生の受け入れは推進すべき課題であり、受け入れ態勢の確立を急ぐべきではないか。
- ・デザイン分野や IT 分野はこれからの産業、強い信念のもと優れた人を育成し、業界の発展に貢献してほしい。